

IEEE広島支部学生シンポジウムに望むこと

2011年5月28日

初代実行委員長

神成 直輝

3. 本日の講演のポイント(1)

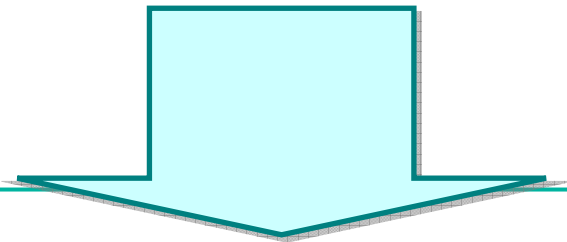
HISSは何のために開催するのか？

本日の講演のポイント(2)

① HISSの設立の経緯

② HISS開催に当たっての苦労や良かった点

③ 実行委員の皆さんに期待すること



HISSは何のために開催するのか
体得してもらう

① HISSの設立の経緯

1. 1 HISSの骨子

■ 1999年8月 キックオフ

- 同年4月にIEEE広島支部開設
- 学生主体のイベントを行うことを決定
- 中国地方の大学から学生20名程度を召集

イベントの骨子

学生主導で企画運営を行なう

中国地区から世界へアピール

1. 2 具体化

■ 1999年9月 イベントの具体化

- ・ イベントの具体化を実施
- ・ 集中的に検討を行い、イベントの大枠を決定

イベント名称 「IEEE広島学生シンポジウム」

略称: HISS (Hiroshima Student Symposium)

研究発表方式として、質問主導型を用いる

「学生の学生による社会のための」イベント

テーマ 「学生の挑戦」

**「学生の学生による社会のための」イベントにするため、
学生の自主性、積極性を中国地区から世界へアピール**

1. 3 開催準備(1)

■ 1999年9月～11月 開催準備

- ・ 組織作り
- ・ 会場やイベントの具体的な内容を企画

組織作り

- ・ 階層を深くせず、トップダウンで出来るようにした。
- ・ 開催地でないと出来ないことは広島の学生で実施

会場

- ・ 大学の講堂や公共の施設で選定
- ・ 「広島県立総合体育館 小アリーナ」に決定



1. 4 開催準備(2)

開催資金

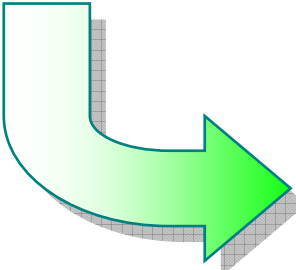
- 当初の試算で3百万円、最終的に半額で開催。
- 企業の代表の方にプレゼンを行い、出資の依頼
- 企業からの寄付や助成金での収入

広報

- ポスター作り（広島市立大学 芸術学部の学生に依頼）
- 大学の先生方の協力
- 新聞の無料広告欄への掲載
- TVの無料宣伝コーナーでの広報

1. 5 第一回HISS開催

- 開催日時： 2000年1月17日、18日
- 内容：
 - ・ テクニカルプレゼンテーション： 71件
 - ・ 基調講演： 2件
 - ・ パネルディスカッション： 2件
 - ・ 企業紹介
- 来場者数： 約1000名



当初の目的を果たしイベントは大成功！

広島ローカルニュースで取り上げられる

② HISS開催に当たっての苦労や良かった点

2. HISS開催に当たっての苦労や良かった点

開催してみて

- 各自が自分の役割に責任を果たすことができた。
- アイデアや工夫をこらすことができた。
- 場所はバラバラながらも連絡をとりあい連携できた。

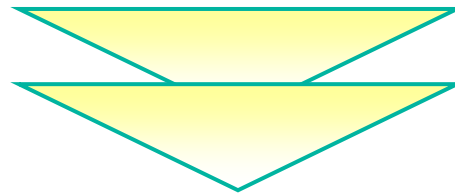
個人的に…

- 組織全体を把握し、指示を出すことの難しさを実感。
- 最終的な判断を下すため、その責任を実感。
- メンバーや協力いただいた先生方の力があってこそその成功。

3. 実行委員の皆さんに期待すること

基本理念

「学生の学生による社会のための」イベント



HISSの全てはこの言葉に集約される

3. 実行委員の皆さんに期待すること

☐ 自分たちのHISSを創り上げて欲しい

「**学生**の**学生**による社会のための」イベント

- 基本理念を踏襲しながらも、自分たちのHISSを創り上げる
- 企画段階は、全体でよく検討して欲しい

☐ リーダとなって欲しい

「**学生**の**学生**による社会のための」イベント

- 責任をもって行なう重要さを認識して欲しい
- 自分の意識している能力より、一つ上の目指して欲しい。

☐ **広報をしっかりと行って欲しい**

「**学生**の**学生**による**社会のための**」イベント

- HISSを広める方法を工夫して欲しい
- HISSの意義をしっかりと伝えて欲しい

☐ **参加者とコミュニケーションをとって欲しい**

「**学生**の**学生**による**社会のための**」イベント

- 開催前のコミュニケーションをしっかりとって欲しい
- 終わった後も参加者の意見を後世に伝えて欲しい

□ HISS Support Club**を利用して欲しい**

- **今後、後援会組織となる予定**
- **HISSの成功に向け、実行委員会を支援する。**
- **ぜひとも後援会を利用し実行委員会を活性化して欲しい。**

最後に

最後に

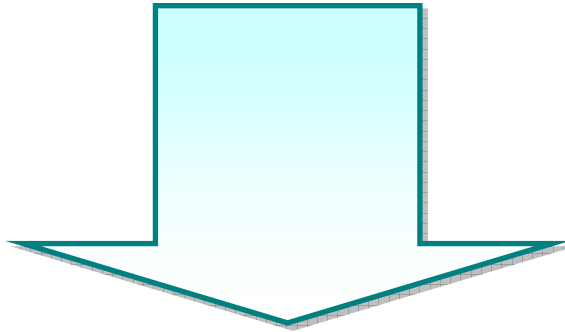
本日の内容

- ① HISSの設立の経緯
- ② HISS開催に当たっての苦労や良かった点
- ③ 実行委員の皆さんに期待すること

**「学生の学生による
社会のためのイベント」**



実行委員会の力



皆さんの力でHISSを創り上げてください！